

Igor Larrosa 博士 講演会報告



目で見ると
海外講師講演会

三浦雅博*

The lecture by Dr. Igor Larrosa

Key Words : cross coupling reaction ; catalysis

Igor Larrosa 博士講演会は、平成 24 年 9 月 3 日午後 13 時 30 分から大阪大学工学研究科化学系会議室で開催されました。Larrosa 博士は、遷移金属触媒を用いる有機合成化学分野で活躍されている新進気鋭の若手研究者です。

2010 年度のノーベル化学賞に象徴されるように、現代社会を支える医薬品や有機機能性材料の合成に、クロスカップリング反応は不可欠の技術として広く用いられています。一方で、効率面、コスト面、環境調和面でより優れた新しいタイプの次世代型反応法の開発研究が、国内外を問わず現在活発に行われています。

本講演会では、炭素-水素結合および炭素-炭素結合の触媒的活性化を経るカップリング反応に関する演者らの最新の研究成果について報告されました。遷移金属触媒反応に関する研究は本工学研究科で活発になされている分野の一つであり、講演後、多くの核心を突く質疑応答がなされ、有意義な情報交換と交流の場となりました。

なお、この講演会は、生産技術振興協会の海外講師講演会奨励事業の支援を受けて行われたものです。関係各位に厚くお礼を申し上げます。



講演風景



質疑応答



Igor Larrosa 博士

イゴール博士は、バルセロナ (スペイン) で生まれ、理学修士を修得。バルセロナ大学 (1999) で、博士号を授与。チューリッヒ (スイス) のエリック M. Carreira 教授の研究所で師事を受けました。博士課程終了後インペリアル・リアル・カレッジ・ロンドン (英国) のアンソニー G. M. 教授の指導を受けバレットのグループで研究。

2007 年 9 月、ロンドンのクイーンメアリー大学で合成有機化学の講師。

2011 年に上級講師。2012 年に触媒分野のリーダーに昇格。

*招聘者 大阪大学大学院 工学研究科 応用化学専攻 教授